

## 京都市動物園の概要及び主要事業

## 1 施設情報

## (1) 開園時間

ア 4月～11月、3月

午前9時から午後5時まで（入園は午後4時30分まで）

イ 12月～2月

午前9時から午後4時30分まで（入園は午後4時まで）

ウ 夜間開園

閉園時間を午後8時まで延長（入園は午後7時30分まで）

令和7年度の実施については、年間11日間の実施を予定している。

## (2) 休園日

毎週月曜日（月曜日が休日の場合については、翌平日）、年末年始（12月28日～1月1日）

令和7年度は3日間を臨時開園日として開園する予定。

※開園時間については通常どおり。

## (3) 入園料

入園料については、京都市動物園条例により以下のとおり定められている。このため、広報物に割引券を添付する等は、原則として不可であることを留意すること。

また、年間入園券については、購入日ではなく「初回入園日」から1年間有効となっている。

一般（大人）	750円
団体：一般が30名以上の場合	650円
中学生以下	無料
年間入園券	2,200円

※ 京都市内在住の70歳以上の方は本人無料（公的証明書の提示が必要）

※ 京都市内在住の70歳以上で要介護認定者、要支援認定者、事業対象者については、本人及び介護者1名無料（介護保険被保険者証の提示が必要）

※ 身体障害者手帳、療育手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳、精神障害者保健福祉手帳、福祉乗車証の提示で本人及び介護者1名無料

※ 幼稚園・保育園・小学校・中学校による団体入園については、園児・児童等は中学生以下のため無料。引率教員（保護者を除く）については、入園届を提出することで入園料が免除となる。ただし、市外の幼稚園・小学校・中学校については、引率者の入園料が必要となる（保育園は市外であっても免除される）。

## (4) 施設の現況

・ 設置面積 41,383㎡

・ 建築面積 6,112.56㎡

・ 主なゾーン

おとぎの国、もうじゅうワールド、  
アフリカの草原、ゾウの森、京都の森、  
ひかり・みず・みどりの熱帯動物館、

・ 収容動物数（令和6年11月末現在）

種別	種	点
哺乳類	38	143
鳥類	39	128
は虫類	25	99
両生類	3	7
魚類	1	187
合計	106	564

※（参考）大都市動物園の敷地面積

園 館 名	敷地面積	園 館 名	敷地面積
京 都 市 動 物 園	41,383 m <sup>2</sup>	札 幌 市 円 山 動 物 園	224,780 m <sup>2</sup>
大 阪 市 天 王 寺 動 植 物 公 園	110,000 m <sup>2</sup>	仙 台 市 八 木 山 動 物 公 園	146,463 m <sup>2</sup>
神 戸 市 立 王 子 動 物 園	80,618 m <sup>2</sup>	広 島 市 安 佐 動 物 公 園	496,273 m <sup>2</sup>
東 京 都 恩 賜 上 野 動 物 園	142,898 m <sup>2</sup>	福 岡 市 動 植 物 園	103,206 m <sup>2</sup>
横 浜 市 立 金 沢 動 物 園	128,000 m <sup>2</sup>	到 津 の 森 公 園 (北 九 州 市)	106,000 m <sup>2</sup>
名 古 屋 市 東 山 動 物 園	322,100 m <sup>2</sup>	平 均	172,884 m <sup>2</sup>

(5) 京都市動物園公式ホームページ及びソーシャルメディア

- ・ ホームページ URL <https://www5.city.kyoto.jp/zoo/>
- 英語版 URL <https://www5.city.kyoto.jp/zoo/lang/en/>
- ハングル版 URL <https://www5.city.kyoto.jp/zoo/lang/ko/>
- 簡体版 URL <https://www5.city.kyoto.jp/zoo/lang/ch/>
- ・ Facebook URL <https://m.facebook.com/158316821020682>
- ・ Twitter URL <https://twitter.com/kyotoshidoubut1>
- ・ Instagram URL <https://instagram.com/kyotoshidoubutsuen/>
- ・ youtube URL <https://youtube.com/user/kyotocitycyberzoo>

(6) 行動指針

ア 種の保存

絶滅のおそれのある動物種の繁殖に取り組み、希少種のいのちをつなぎ、種の保存に寄与します。  
 (アジアゾウやニシゴリラ、グレビーシマウマ、ツシマヤマネコ、イチモンジタナゴ等絶滅危惧種の繁殖に取り組みます。)

イ 動物福祉

動物の福祉に配慮し、いのちを輝かせる飼育・展示を行います。  
 (動物本来の行動を引き出し、動物の心身の健康が保たれるよう、配慮します。)

ウ 研究

野生動物の行動や生態、動物福祉等の研究を推進し、生物多様性の保全に寄与します。  
 (動物園では国内初となる、科学研究費補助金を申請できる「学術研究機関」として文部科学省から指定を受けています。これらの外部資金を活用し研究を積極的に進めます。)

エ 楽しく学ぶ

種の保存の取組や研究の成果を活かし、幅広い年齢層を対象に環境教育を実践し、楽しい学びの場を提供します。  
 (「生物多様性」や「環境保全」などについて、市民一人ひとりの環境意識が向上する場となることを目指します。)

オ 安心安全

安心で安全な動物園であり続けます。  
 (来園者や職員、そして飼育動物の安全を守るために、定期的な点検や検証、研修を通じて安全への意識が低下することのないよう、対策を講じます。)

カ 発信

様々な市民・団体との共汗により、人と動物に係る文化を発信します。

(刊行物や各種SNS等、時代に応じた広報媒体を活用し、動物たちの魅力や取組を発信します。)

## 2 入園者数の実績

(1) 年間総入園者数及び開園日数 (令和6年度の総入園者数については、11月末までの集計)

年度	開園日数	総入園者数
令和元年度	310日	772、980人
令和2年度	279日	586、037人
令和3年度	247日	556、927人
令和4年度	311日	741、928人
令和5年度	311日	682、198人
令和6年度	211日	445、895人

(2) 月別入園者実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4	93、869	4、308	45、162	81、151	74、486	75、034
5	114、467	30、598	34	97、289	83、098	81、734
6	50、284	47、547	46、428	48、645	48、219	44、422
7	37、709	34、032	39、437	26、532	24、743	21、703
8	36、240	38、815	27、729	41、789	32、669	26、954
9	65、759	83、753	139	52、901	52、454	48、056
10	102、594	82、905	102、884	94、697	80、835	73、860
11	96、823	83、351	100、156	78、676	83、366	74、132
12	34、375	31、152	40、209	36、766	36、909	
1	53、432	26、283	44、449	50、218	50、899	
2	41、194	52、763	41、515	47、133	50、538	
3	46、234	70、530	78、785	86、131	63、982	
計	772、980	586、037	556、927	741、928	682、198	

## 3 京都市動物園年間主要事業 令和6年度 (予定を含む)

(1) 夜間開園

ア 実施時期

7月27日(土)、28日(日)、8月10日(土)、11日(日)、  
9月14日(土)～16日(月・祝)、10月12日(土)、13日(日)、  
3月29日(土)、30日(日)

イ 内容

動物園の開園時間を午後8時まで延長し、ライトアップや連携協定を結んでいる大学との共催イベント等を行う。

(2) 野生動物学のすすめ

ア 実施時期

4月13日（土）、14日（日）

イ 内容

野生動物保全に関する教育及び研究に関連したイベントで、展示や講演会、体験型学習プログラム等を開催する。

(3) セブンスペシャル

ア 実施時期

7月7日（日）（6月募集）

イ 内容

来園者から、動物園で実施したいことを募集し、当選者に実現していただくイベント。

(4) 動物たちへの氷のプレゼント

ア 実施時期

8月4日（日）

イ 内容

動物たちに氷柱をプレゼントし、氷柱で涼をとる動物を観察していただくイベント。

(5) 夏休み動物園教室

ア 実施時期

8月6日（火）、7日（水）、8日（木）

イ 内容

小学3年生～中学生を対象とした、動物園で楽しく学べるプログラム。

(6) ドリームナイト・アット・ザ・ズー

ア 実施時期

9月28日（土）

イ 内容

障害のある子どもたちとその家族や、病気を患っている子どもとその家族を閉園後に招待するイベント。

(7) やまねこ博覧会

ア 実施時期

10月5日（土）、6日（日）

イ 内容

企画展や保全関係者によるブース出展、各種プログラムにより、絶滅の恐れの高いツシマヤマネコの現状や、動物園での繁殖の取組について広く知っていただくイベント。

(8) ウィンタースクール

ア 実施時期

12月7日（土）、8日（日）、1月18日（土）、19日（日）

イ 内容

これまで実施してきた「サマースクール」を「ウィンタースクール」として季節を変えて実施。飼育体験を通して、動物について学ぶプログラム。対象は小学3年生～中学生。

(9) どうぶつ大接近

ア 実施時期

1月26日（日）、2月9日（日）、3月9日（日）

イ 内容

普段は入ることのできないバックヤードでいつもより近くから動物たちを見ることができ、飼育員からも興味深い話を聞くことができるイベント。

(10) アニマル園長選挙

ア 実施時期

2月4日（火）～3月2日（日）

イ 内容

翌年度の動物園の顔として、園の活動をPRする動物を来園者からの投票で選ぶイベント。

4 広報業務委託によるこれまでの主な実施内容（平成29年度～令和6年度）

- ・集客施設へのPRブース出展
- ・フリーペーパーでの連載記事、広告
- ・インバウンド向けフリーペーパーへの広告
- ・交通広告（中吊り、車内、吊革間、駅構内）
- ・SNS配信（Instagram広告、動物園コラム、カレンダーフォトコンテスト等）
- ・新聞&雑誌広告
- ・屋外広告（郵便局）
- ・アニメ「けものフレンズ」コラボイベント
- ・ラジオ番組でのPR
- ・京都駅&山科駅サインージ広告掲出
- ・企業&団体向け広報
- ・園内広報（フォトパネル設置）
- ・来園促進ポスター作成
- ・「Zoo〜っとサポーター」広報チラシ作成
- ・「動物園だより」作成
- ・園内配布物（うちわ・カレンダー）の作成

5 京都市動物園サポーター制度（京都市動物園Zoo〜っとサポーター）

個人や企業・団体等による動物の餌代や京都市動物園整備等への寄付を通じ、動物園の運営に参画することで動物園を更に身近に感じていただくとともに、一層の財源の確保を目的として「京都市動物園サポーター制度」（京都市動物園Zoo〜っとサポーター）を平成26年6月から開始している。制度の概要については以下のとおり。

(1) 商品提携サポーター

年間20万円以上の寄付額が見込まれる商品を認定し、その販売を通じて、動物園に対して売り上げの一部を御寄付いただくもの。認定商品には動物園ロゴマークや名称（KYOTO CITY ZOO等）を表示する。

(2) 看板広告サポーター

動物舎への広告看板の設置を通じて動物園を支援していただく。看板は1枠2㎡程度、広告料は年額50万円。

(3) エサ代サポーター

飼育展示している動物の餌代として、1口10万円（複数口可）の御寄付を頂いた場合、希望により企業等の名称を印刷したプレート（縦15cm×横30cm程度）をゾーン看板又は動物種名看板付近に、寄付の翌月から1年間掲示する。

(4) 提案型サポーター

他の制度に該当しないもので、協議により決定した内容で動物園を支援していただくもの。

例として、動物園の事業に対する支援（ゾウの繁殖プロジェクト等）、サポーターとのコラボレーションによる動物園のPR、動物園に対する物品や役務の供給等がある。